

じょうえつさんわどうろ

上越三和道路関係遺跡説明会資料

～平成27年度 堂古遺跡・下割遺跡・二反割遺跡の発掘調査～



平成27年9月26日（土）

国土交通省北陸地方整備局高田河川国道事務所

公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団

小柳建設株式会社

1 概要

国道253号上越三和道路建設に伴い、平成27年4月から堂古遺跡・下割遺跡、7月から二反割遺跡の発掘調査を行っています。いずれも飯田川の自然堤防に立地し、標高は約14mです。

調査の結果、堂古遺跡・二反割遺跡は中世、下割遺跡は中世～近世の集落と判明しました。今年度の調査では、遺物は多く出土しませんでした。今までの調査から、飯田川を挟んで中世～近世にかけて集落が営まれ、周辺に水田が位置するという、現在の高田平野で見られる景観が広がっていたことが分かります。



堂古遺跡・下割遺跡の全景
（東上空から 画面奥が高田市街）



上越三和道路関係の遺跡（黄線が上越三和道路法線）